

登録コード	E6300900	開講年度	2026				
授業科目	特別支援教育実習(事前・事後指導を含む)					担当教員	楠見 友輔 他
英文授業名	Practicum in Classroom Teaching and Management in Special Needs Education					副担当	下山 真衣・宮地 弘一郎
単位数	3	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年
講義室	教育附属特別支援学校		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	3年次に教育実習に行くことができなかったものは、相談の上、4年次での教育実習を認めることがある。
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					特別支援教育に求められる使命感と倫理観を持って実践できる	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					特別支援教育における専門的知識と技能を活用できる	
	他者と協働して教育活動をつくる社会的スキル					他の実習生、実習校の教員と協働して教育活動を実践できる	
	理論と実践を往還する省察と改善の態度					大学で履修した特別支援教育に関する知識・技能を基に、教育現場で児童生徒の育成に直接携わることで、さらなる自身の教師としてのものの見方、考え方、豊かな心情、専門職としての資質や能力について省察し、改善できる	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	1) 特別支援教育を実践している学校の特質を理解する。 2) 児童生徒の理解を深める。 3) 児童生徒に対する教育方法及び教師の姿勢を理解し、獲得するための機会とする。 4) 児童生徒の教育に対する教育理念や教師の使命を身につける機会とする。 5) 特別支援教育を行うに当たっての自己の課題を見い出す契機とする。						
(5)授業計画	事前指導 第 1 回：ガイダンス＋調書作成（対面） 第 2 回：体験実習事前指導（オンデマンド） 第 3 回：体験実習（ 附属特別支援学校） 第 4 回：体験実習振り返り（対面） 第 5 回：特別支援教育実習参加資格試験（副免試験） 第 6 回：授業研究 （対面） 第 7 回：授業研究 （対面） 第 8 回：授業研究 （対面） 第 9 回：授業研究 （対面） 第 1 0 回：教育実習前指導全体会事前指導（オンデマンド） 第 1 1 回：教育実習前指導全体会（ 附属特別支援学校） 第 1 2 回：教育実習事前実地指導（ 附属特別支援学校） 教育実習（ 附属特別支援学校、10日間） 観察実習：授業を参観し、児童生徒と共に生活しながら、その実態を把握する。 実習：実習生が、指導教官の指導の下で授業を行う。（児童生徒の実態把握、題材の位置づけ、構想学習計画案の作成、教材研究、教具の工夫と製作、個々の支援計画の検討、授業計画案の検討、授業、反省等を含む） 応用実習：基礎実習で学んだことを生かして、実習生の力で授業の展開や日常生活の指導を実施する。 事後指導 教育実習振り返り（対面） マークの付いた日程は全日である。						
(6)成績評価の方法	教育実習期間中の授業計画・指導実践・教材作成等に、個人または協働で取り組む態度および実績により評価する						
(7)成績評価の基準	・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	「（3）授業計画」に記した通りである。事前・事後指導は必ず全てに参加をすること。						
(9)履修上の注意	・体調とスケジュール管理を徹底し、倫理的な態度で臨むこと。 ・昨年度まで開講されていた「障害児療育指導法実習」は、本授業に統合された。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談については、特別支援教育実習担当の楠見（kusumi@shinshu-u.ac.jp）まで連絡ください。						
【教科書】	配付される教育実習のしおりや資料をテキストとして用いる。						
【参考文献】	特別支援学校学習指導要領・解説						